

地域部活動推進委員会

第5回運動部会

日時 令和4年7月22日(金)
9:30~11:30
会場 岡山県立図書館 多目的ホール

会議次第

- 1 開 会
- 2 挨拶
- 3 国の提言 (9:40~9:50)
- 4 検討・協議 (9:50~11:20)
【検討内容】：別紙
- 5 今後のスケジュールについて (11:20~11:25)
- 6 その他 (11:25~11:30)
- 7 閉 会

運動部会メンバー

No.	委員氏名	所属	役職	備考	
1	森 章博	岡山県中学校体育連盟 (岡山市立高島中学校 校長)	会 長	中学校部会 学校体育連盟	
2	山口 憲明	岡山県中学校体育連盟 (岡山市立高島中学校)	理事長		〃
3	片山 洋平	赤磐市教育委員会 学校教育課	主 任		教育委員会
4	赤堀 恵一	早島町教育委員会 学校教育課	指導主事		教育委員会
5	平松 敬子	高梁市教育委員会 こども教育課	教職員係長		教育委員会
6	出射 実	赤磐市立磐梨中学校	校 長		実践研究校 (休日部活動)
7	田野 利昭	早島町立早島中学校	校 長		実践研究校 (休日部活動)
8	根馬 英伸	高梁市立高梁東中学校	校 長		実践研究校 (合同部活動)
9	藤井 輝彦	高梁市立有漢中学校	校 長		実践研究校 (合同部活動)
10	武田 浩充	高梁市立高梁北中学校	校 長		実践研究校 (合同部活動)
11	川藤 圭一	岡山県環境文化部スポーツ振興課	主 任		行 政
12	田中 薫	岡山県高等学校体育連盟 (岡山県立備前緑陽高等学校 校長)	会 長	高校部会 学校体育連盟	
13	高取 俊明	岡山県高等学校体育連盟 (岡山県立岡山一宮高等学校)	理事長		〃
14	藤岡 隆幸	岡山県高等学校校長協会 (岡山県立和気閑谷高等学校 校長)	管理運営 研究委員会		校長協会
15	山本 浩之	岡山県環境文化部スポーツ振興課	総括参事		行 政

■ オブザーブ

地域移行支援コーディネーター

高岡 敦史 (岡山大学大学院 教育学研究科 准教授)

三宅 厚自 (きよねスポーツくらぶゼネラルマネージャー)

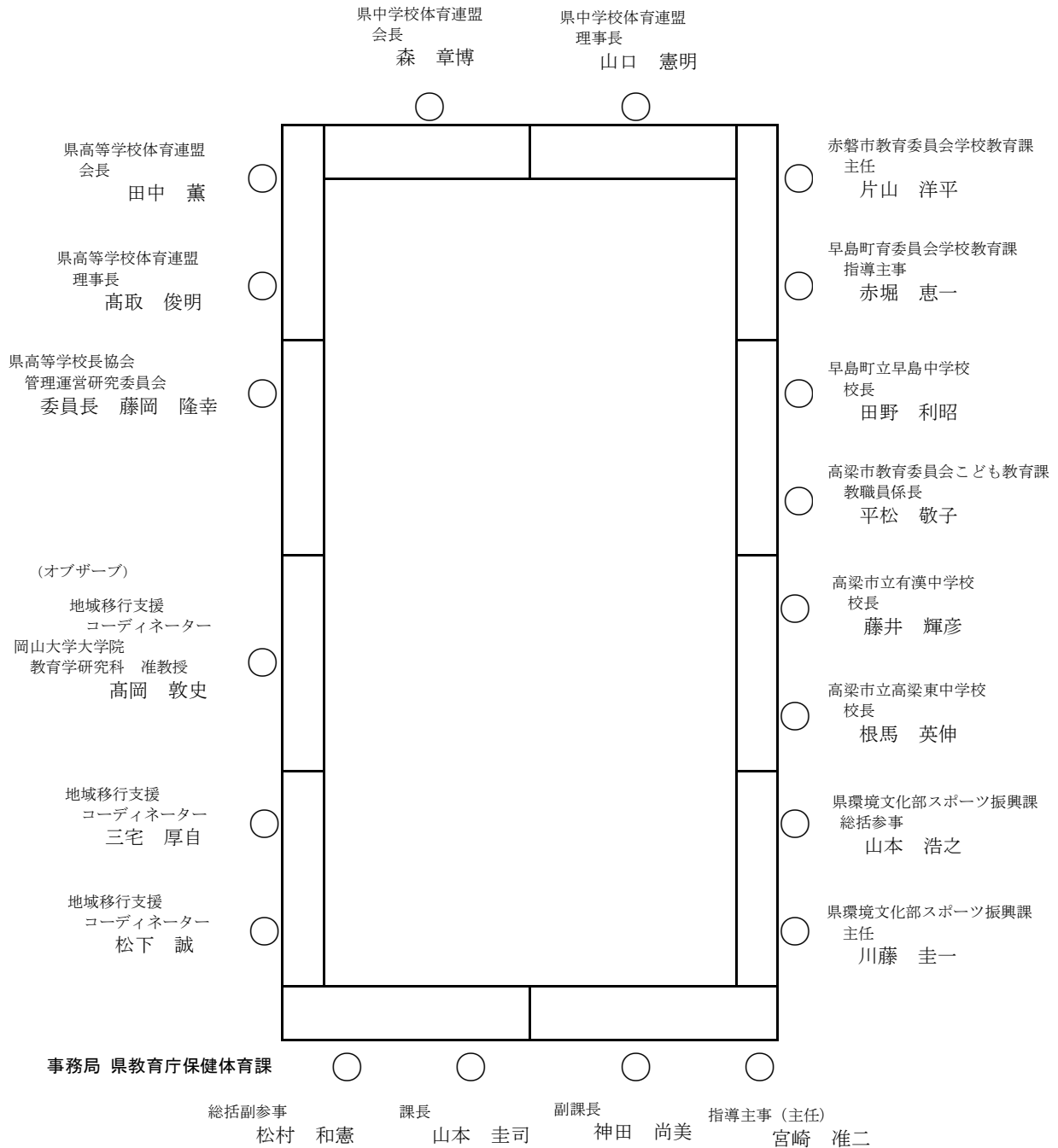
松下 誠 (しらうめスポーツクラブ事務局次長)

■ 事務局

県教育庁保健体育課、県環境文化部スポーツ振興課

地域部活動推進委員会第5回運動部会 座席表

岡山県立図書館 多目的ホール




出入口

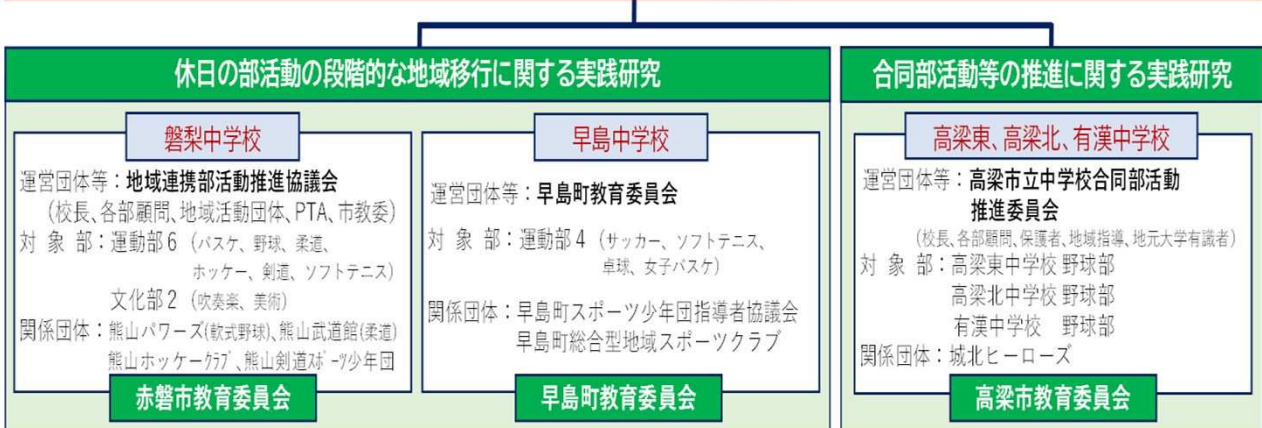
共 通 (100分)	3 国の提言（別紙資料）
	4 検討・協議 (1) モデル校の進捗状況について P5 ・赤磐市立磐梨中学校 ・早島町立早島中学校 ・高梁市立高梁東中学校、有漢中学校、高梁北中学校
	(2) 地域移行支援コーディネーターについて P8
	(3) 運動部活動の地域移行に関する検討状況 P9
	(4) 関係団体等への意見集約（まとめ）について P12及び別紙資料
	(5) 地域移行説明会について P13
5 今後のスケジュール P14	
6 その他	

【参考】R4事業推進体制

部活動の「地域移行」

1 本県での取り組み(令和3年度～)

	地域部活動推進委員会 概要：岡山県のこれからの部活動の在り方に関する検討、実践研究（国委託事業）に係る協議・指導助言等 ※計5回程度開催（2カ年：令和3年度～令和4年度） 委員（22名）：学識経験者（大学准教授）、学校関係者（校長会、PTA）、 運動部関係（中体連、高体連、高野連、スポーツ協会、スポーツ推進委員、総合型SC）、 文化部関係（中文連、中吹連、高文連、文化連盟）、市町村教委（事業委託先）、 県行政（スポーツ・文化）、県教育庁（保健体育課、生涯学習課、教職員課）					
	<table border="0"> <tr> <td style="border: 1px solid red; padding: 2px;"> 運動部会 概要：運動部における取組の検討 ※年3回程度 委員：県中体連、県高体連（代表各2名） 事業委託市教委、拠点中学校、県教育庁保健体育課 </td> <td style="border: 1px solid red; padding: 2px; text-align: center;"> 中学校検討会 </td> <td style="border: 1px solid red; padding: 2px;"> 文化部会 概要：文化部における取組の検討 ※年3回程度 委員：県中文連、県中吹連、県高文連 事業委託市教委、拠点中学校、県教育庁生涯学習課 </td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid red; padding: 2px;"> 高等学校検討会 </td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	運動部会 概要：運動部における取組の検討 ※年3回程度 委員：県中体連、県高体連（代表各2名） 事業委託市教委、拠点中学校、県教育庁保健体育課	中学校検討会	文化部会 概要：文化部における取組の検討 ※年3回程度 委員：県中文連、県中吹連、県高文連 事業委託市教委、拠点中学校、県教育庁生涯学習課	高等学校検討会	
運動部会 概要：運動部における取組の検討 ※年3回程度 委員：県中体連、県高体連（代表各2名） 事業委託市教委、拠点中学校、県教育庁保健体育課	中学校検討会	文化部会 概要：文化部における取組の検討 ※年3回程度 委員：県中文連、県中吹連、県高文連 事業委託市教委、拠点中学校、県教育庁生涯学習課				
高等学校検討会						



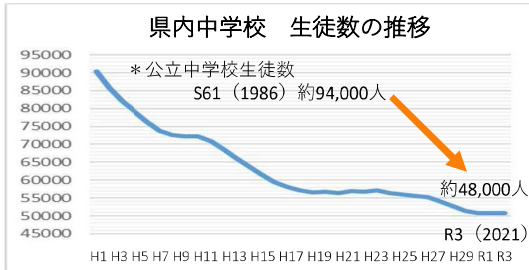
部活動の「地域移行」

これまでの
子どもたちの
スポーツ・文化活動

- 「部活動」
 - ・学校が部活動を設置運営する形で確保
 - ・学校単位で活動(練習・大会参加)

- 指導の状況
 - ・休日を含め教師が指導
 - ・競技の専門性を有しない教師も指導

●少子化の進行



●働き方改革の進展

学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務

- ⑤ 調査・統計等への回答等 (※(事務職員等))
- ⑥ 児童生徒の休み時間における対応 (※(輪番、地域ボランティア等))
- ⑦ 校内清掃 (※(輪番、地域ボランティア等))
- ⑧ 部活動 (※(部活動指導員等))

※ 部活動の設置・運営は法令上の義務ではないが、ほとんどの中学・高校で設置。多くの教師が顧問を担わざるを得ない実態。

「中央教育審議会答申」(平成31年1月)から抜粋

●生徒(部員)や指導する教師の減少

●生徒にとって望ましい指導が困難

◆これまでと同様の部活動(学校単位、教師が指導を担う等)の維持・継続が困難

▶子どもたちがスポーツ・文化活動に親しむ機会が大きく減少

スポーツ・文化活動の機会(確保・提供)を、学校主体の取組から地域主体の取組へ移行

地域でスポーツ・文化活動を実施できる環境の整備

休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境の整備

■「令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行」に向けて

各市町村において、教育委員会、スポーツ担当部局、学校、地域の関係者等が検討・協議

□国の検討会による提言(令和4年6月6日)

子どもたちにとってふさわしいスポーツ環境の確保

令和4年度「地域部活動推進事業」スケジュール(予定)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体の動き		市町村担当者会議 市町村問題懇談会	第4回運動部会 県中学校長協会 県高等学校長協会 県中学校長協会 県高等学校長協会	第3回推進委員会	第5回運動部会 第3回文化部会	地域移行説明会① 地域移行説明会② 第4回推進委員会	地域移行説明会③	知事と一緒の生き生きトーク 第4回文化部会		第6回運動部会	第5回推進委員会		研究成果発表会
		モデル校での実践研究											
市町村教委		【主な取組事項】・運営主体の確保・人材の確保・兼職業の体制整備・財源の確保・スポーツ担当部局等との連携・学校体育施設等の活用等											
中学校(高等学校はできる範囲)		【主な取組事項】・運営主体の確保・人材の確保・兼職業への対応・財源の確保・生徒・保護者へ説明・校内体制整備・事故発生時の対応等											
モデル校	休日の部活動の段階的な地域移行	赤磐市 赤磐プロジェクト委員会① 兼職業にかかる説明会	早島町 保護者への説明	高梁市 市推進委員会(事業計画)	高梁市 市推進委員会(アンケート実施)	高梁市 市推進委員会(アンケート実施)	高梁市 市推進委員会(アンケート実施)	高梁市 市推進委員会(アンケート実施)	高梁市 市推進委員会(アンケート実施)	高梁市 市推進委員会(アンケート実施)	高梁市 市推進委員会(アンケート実施)	高梁市 市推進委員会(アンケート実施)	高梁市 市推進委員会(アンケート実施)
	合同部活動	高梁市	高梁市	高梁市	高梁市	高梁市	高梁市	高梁市	高梁市	高梁市	高梁市	高梁市	高梁市
	推進委員会	高梁市	高梁市	高梁市	高梁市	高梁市	高梁市	高梁市	高梁市	高梁市	高梁市	高梁市	高梁市
部会	中学校	拠点校の取組の検証、市町村での取組の検証等											
部会	高等学校	拠点校の取組の検証、市町村での取組の検証等											
地域移行説明会		説明会①、②(県南2会場、県北1会場(予定)) 説明会③ 説明会(予備)											
地域移行支援コーディネーター		随時、拠点校及び市町村の支援											
		説明会で説明	説明会で説明	説明会で説明	説明会で説明	説明会で説明	説明会で説明	説明会で説明	説明会で説明	説明会で説明	説明会で説明	説明会で説明	説明会で説明

※国の動向や他県の取組に注視し、状況によっては、スケジュールを変更する場合があります。

4 検討・協議

(1) モデル校の進捗状況について

【中学校】実践研究事業にかかる課題別状況整理表

R4.7.22時点

		実践研究のテーマ		
		休日部活動の段階的地域移行		
運営主体		地域連携部活動推進協議会		
拠点校		赤磐市立磐梨中学校		
対象の運動部活動		【6部/6部(運動部)】 ・バスケットボール ・野球 ・柔道 ・ホッケー ・剣道 ・ソフトテニス		
年度当初の課題		現状(解決済み)	課題	課題解決方法
各課題別の状況(方向性、進捗状況等)	専門的な部活動指導の可能な地域指導者の確保	・全ての部活動で配置が完了	・若手の人材発掘。	・今後も、地域の方や卒業生からの情報収集。
	地域指導者の資質向上	・複数の指導者による分担。 ・生徒の特性(発達障害等)についての理解。	・指導者間のコミュニケーション。 ・若手の育成。 ・緊急時の対応	・年2~3回の指導者研修会を実施。
	学校体育と社会体育の連携	・クラブチームやスポーツ少年団等と連携。	・来年度以降の施設利用に関して。	・検討中。
	地域連携の組織化	・「磐梨Dream Townプロジェクト」を立ち上げ活動。	・運営において事務担当が必須となっている。	・検討中。
	運営資金について	・今年度は補助金からの指導者への謝礼金。	・謝礼金等の資金調達	・地元の方や企業からの募金等

【中学校】実践研究事業にかかる課題別状況整理表

R4.7.22時点

		実践研究のテーマ		
		休日部活動の段階的地域移行		
運営主体		早島町教育委員会		
拠点校		早島町立早島中学校		
対象の運動部活動		【4部／9部(運動部)】 ・サッカー ・ソフトテニス ・卓球 ・剣道		
年度当初の課題		現状(解決済み)	課題	課題解決方法
各課題別の状況(方向性、進捗状況等)	保護者、地域への周知	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めのPTA総会の際に、休日部活動の段階的地域移行について周知予定であったが、参観日中止のため実施できていない。 ・はやしま学園運営協議会(CS)の場で、国や中学校の取り組みなどについて報告した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度を目途に、休日の地域移行が行われることを周知しても、今後の具体的な計画の見通しが不透明な状況にある。 ・財政的裏付け、指導体制等を明確にした上で、保護者全体への周知を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な計画を策定するためにも、地域移行協議会等を設置し、協議する場が必要である。 ・各市町村がどのような動向にあるのか情報の共有が必要である。
	費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・費用負担に関する検討は進んでいない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域移行した際の費用負担について、町独自で金額を設定していくのか、他市町村と足並みを揃えていくのか、不透明な状況である。 ・国や県からの補助があるのかも明確になっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域移行後の部活動に関する費用負担は誰がどれくらい負担をしていくのか、学校、教育委員会、保護者で話し合いをする場を設け検討を行っていく。
	休日の施設管理	<ul style="list-style-type: none"> ・今学期は、卓球部が1度だけ、運動部支援員(平日・休日とも勤務)単独で指導した。体育館の鍵については、別業務で学校に来ていた教職員が鍵保管場所(職員室)で受け渡しを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の生徒との関係や顧問としての責任感から運動部支援員だけに任せることができなかったものと考えられる。 ・休日しか勤務できない運動部支援員もいるので、顧問の適切な部活動への関わりがないと運営が難しい状況にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平日の部活動では、顧問が学級・教科指導等で遅れて部活動指導が単独で行うことはある。運動部支援員が平日も勤務できる場合は、平日の部活動から運動部支援員に任せていくのがよいのではないかと。 ・平日の部活動の位置づけを明確にする必要がある。
	生徒指導の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導上の対応が必要となった場合、運動部支援員からその内容を聞き取り、主に顧問が指導した。 ・生徒間のトラブルがあったことはあるが、生徒に部活動支援員の気持ちが響いてよい効果があるように感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐに保護者と連絡を取らなくてはいけない場合など、混乱が生じると考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段からの情報共有が必要である。 ・早急な対応が必要な場合は、顧問との連絡体制を確認しておく必要がある。 ・運動部支援員と保護者をつないでおく必要がある。

【中学校】実践研究事業にかかる課題別状況整理表

R4.7.22時点

		実践研究のテーマ		
		合同部活動等の推進		
運営主体		高梁市立中学校 合同部活動運営委員会		
拠点校		高梁東中 高梁北中 有漢中		
対象の運動部活動		野 球		
年度当初の課題		現状(解決済み)	課題	課題解決方法
各課題別の状況（方向性、進捗状況等）	ICTを活用した指導等		平日の放課後の練習等で、端末を活用した練習や情報交換	・取組案として、大学の協力で、トレーニング方法を配信することなどを考えている。
	地域指導者による指導支援	・地域指導者の各校への派遣(大学生については、引退した4年生を中心に指導に当たってもらう。)	・日程調整、会場の確保 ・地域指導者と顧問との連携	・日程調整、会場確保については、最初の調整は市教委、詳細については顧問代表へ移行する。また、会場までは保護者送迎で対応する。 ・地域チームの練習に中学生が参加する。
	モデル校の取組を市内全域に周知	・合同部活動推進委員会の実施により、市内6中学校全体で事業を広げていくことを検討する。 ・市内6中学校をグループに分けて、または、市内6校合同で練習を行う。	・会場や参加校の調整	・日程調整、会場確保については、最初の調整は市教委が行い、詳細については顧問代表へ移行する。

(2) 地域移行支援コーディネーターについて

1 概要

大学教授等、学校体育及び地域スポーツに知見を有する者を地域移行支援コーディネーターとして委嘱し、部活動の地域移行を実現するための方策の検討や、拠点校及び市町村の支援を行う。

2 コーディネーターの業務

- (1) 市町村教委からの依頼を受け、関係者とともに関解決策や地域の実情に応じた地域移行の進め方等の支援を行う。
- (2) 県教委主催の市町村等に向けた地域説明会で、国の動向や優れた取組や成果等をもとに、助言を行う。

3 コーディネーター（予定）

	主な担当地域	氏 名	役 職
1	全域	高岡 敦史	岡山大学教育学研究科准教授
2	県南	三宅 厚自	きよねスポーツくらぶゼネラルマネージャー
3		出原 稔	岡山市スポーツ推進委員
4		向井 彰	倉敷市スポーツ推進委員
5		白井 福美	玉野市スポーツ推進委員
6	県北	松下 誠	しらうめスポーツクラブ事務局次長/クラブマネージャー
7		長尾 政則	真庭市スポーツ推進委員

4 地域移行説明会

市町村等に向けた説明会と成果発表会を開催。

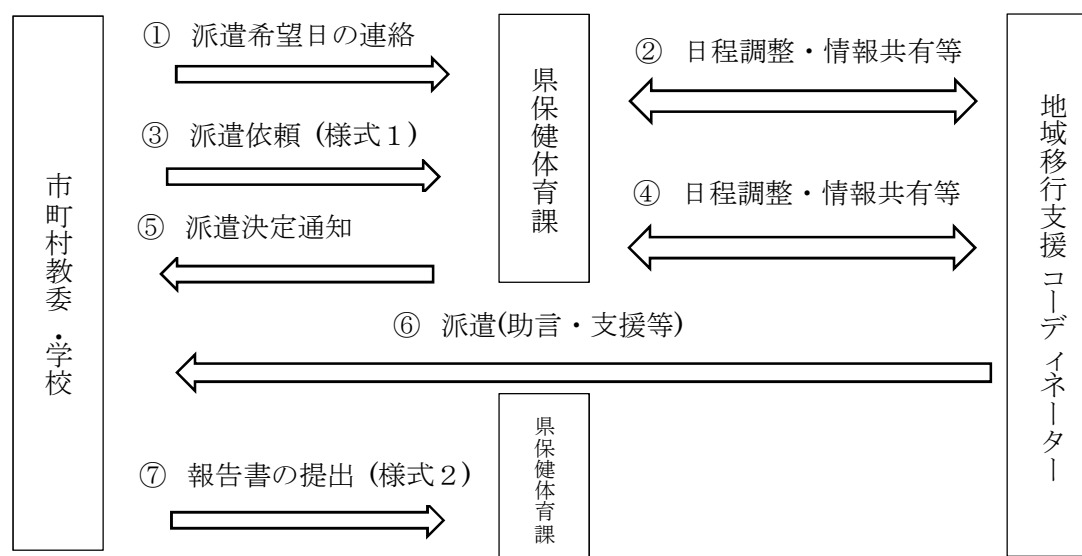
対 象 者：学校関係者、市町村担当者、地域担当部局、スポーツ推進委員等のスポーツ指導者

目 的：地域移行におけるモデル校での成果や課題等を県内に展開するため。

内 容：国の提言や推進委員会等の内容、モデル校の成果や課題等。

5 地域移行支援コーディネーター派遣

市町村等からの要望に応じて、コーディネーターを派遣し、地域移行を実現させるための課題解決に向けた助言等を行う。



(3) 運動部活動の地域移行に関する検討状況

部活動の「地域移行」

運動部活動の地域移行に関する検討会議 提言(抄)

～少子化の中、将来にわたり我が国の子供たちがスポーツに継続して親しむことができる機会の確保に向けて～

第2章 地域における新たなスポーツ環境の在り方とその構築方法等

3 地域における新たなスポーツ環境の構築のスケジュール



	各年度の取組例（「提言」P.14～P.15 抜粋）
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ① <u>各中学校等において、運動部に入っていない生徒も含めた生徒・保護者のニーズや教師の意向をアンケート等で把握するとともに、体力、運動習慣上の課題等を踏まえて、今後のふさわしいスポーツ活動内容について検討する。</u> ② <u>各市町村において、地域スポーツ担当部署、地域スポーツ団体、教育委員会、小・中学校等の関係者による協議会を設置し、（中略）具体的な検討を開始する。</u> ③ <u>各市町村において、地域でのスポーツ指導を望む教師が兼職兼業の許可を得て指導に携われるよう兼職兼業の運用の考え方等の整理を進める。</u> ④ <u>国から、生徒が参加する各種大会の主催者である日本中体連（中略）等に対して、（中略）大会の在り方や参加資格、引率規定の見直し等の検討とともに、各団体において令和4年度中に結論を出すよう要請する。</u>
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既に活動しているスポーツ団体・組織を活用できる地域等から、まずは休日の運動部活動に関し、段階的に、（中略）当該地域の実情に適した地域移行の取組を開始する。 ・ 休日の地域でのスポーツ指導を希望する教師が円滑に兼職兼業の許可を得て地域で指導できるよう運用を開始。
令和6年度以降	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域におけるスポーツ環境の整備充実を本格的に進め、生徒にふさわしいスポーツ活動を着実に増加させていく。

本県における今年度の取組状況

① 現状の把握

県立中学校・中等教育学校において、生徒・保護者のニーズや教員の意向を把握するため、県内4校へアンケートの実施を依頼。（回答期限：7/31）

② 協議の場の設定

県内20市町村で関係者による協議・検討等を実施。（各市町村への聞き取り 6/16時点）

③ 兼職兼業の運用の考え方

兼職兼業については、各市町村教育委員会で、（令和3年2月の国からの通知「兼職兼業の取扱い等について」の内容等を確認しながら）運用することになる。

県立学校については、県教育庁教職員課で協議・検討中。

④ 大会の在り方（県中体連）

これまでと同様に、生徒の成果発表の場である大会を開催できるよう、条件（環境）を整えていく。そのために、諸課題を整理し、令和5年度は、日本中体連の動向等を踏まえた大会が開催できるよう検討を進める。

部活動に対するアンケート

	【生徒用】
前 文	<p>これまで中学校等の生徒のスポーツ・文化に親しむ機会の多くは、学校が部活動を設置運営する形で確保されてきましたが、少子化や学校の働き方改革が進む中で、現行の、学校単位で活動し、指導は教員が担うという部活動の継続は困難であり、今後生徒がスポーツ・文化に親しむ機会が大きく減少してしまう恐れがあります。こうした事態を避けるため、国では、学校の部活動に代わり、地域においてスポーツ・文化の機会を将来にわたって確保・充実できるよう、子どもが地域でスポーツ・文化に親しめる環境を新たに構築していく部活動改革が進められており、その第一歩として、まずは、令和5年度以降の休日の部活動の段階的な「地域移行」が示されています。</p> <p>本調査は、部活動の地域移行の検討の資料として、現状を把握するために実施されるものであり、この結果をもって直ちに令和5年度から学校の部活動がなくなるものではありません。</p> <p>どの生徒が回答したかは分からないようになっていきますので、安心して回答してください。また、ほかの人と相談せず、自分自身で考えて回答してください。</p> <p>※この調査での「地域移行」とは、中学生のスポーツ等の環境を、学校単位から地域単位での活動に移行すること。 (例) 平日…学校での部活動 *指導者：教師、部活動指導員など 休日…地域でのスポーツ活動等 (地域のスポーツ団体等で活動する場合、同じ学校の生徒と一緒に活動するとは限らない。) *指導者：地域の方など。(指導希望の教師が行う場合がある)</p>
設 問	<p>問1 あなたの学校名を次から選択してください。 1 A中学校 2 B中学校 3 C中学校 4 D中学校</p> <p>問2 あなたは何年生ですか。次の中から一つ選んでください。 1 1年生男子 2 1年生女子 3 2年生男子 4 2年生女子 5 3年生男子 6 3年生女子 7 無回答</p> <p>問3 あなたは、学校の部活動(運動部・文化部)に所属していますか。次の番号から1つ選んでください。なお、運動部以外の部は、文化部とします。 1 運動部 2 文化部 3 運動部と文化部の両方 4 所属していない</p> <p>(※部活動に所属していない人は、問4へ、部活動に所属している人は、問5へ進んでください。)</p> <p>問4 あなたが運動部に所属していない最大の理由は何ですか。 1 勉強したい 2 文化部やその他の活動(趣味)を優先したい 3 運動部は活動が厳しい 4 運動部は活動時間・日数が長い 5 ケガをしたくない 6 やりたい運動部がない 7 学校以外のスポーツクラブに所属している 8 運動・スポーツは苦手</p> <p>(※部活動に所属していない人は、問7へ進んでください。)</p> <p>問5 あなたが部活動に所属している目的は、次のうち、当てはまるものすべてを選択してください。 1 大会・コンクール等で良い成績を取める 2 チームワーク・協調性・共感を味わう 3 体力・技術を向上させる 4 友達と楽しく活動する 5 部活動以外に取り組めるものがない 6 学校以外に活動場所・施設がない 7 進学や就職に有利なるかもしれない 8 特にない 9 その他</p> <p>問6 あなたは部活動の顧問や指導者から指導を受けてどのように感じていますか。 1 指導がわかりやすい 2 体力・技術が向上している 3 部活動がもっと好きになった 4 もっと専門的な技術指導を受けたい 5 指導が厳しい 6 指導時間が長い 7 指導時間が短い 8 指導がわかりにくい 9 特に感じない 10 その他</p> <p>問7 あなたは、休日の部活動が学校の活動ではなくなった場合、休日の地域スポーツ・文化活動に参加したいですか。 1 家の近くの活動なら参加したい 2 通学している学校または学校近くの施設なら活動したい 3 家の近く、通学している学校等のいずれでなくても求める条件に合うところがあれば参加したい 4 学校の部活動でないのなら参加したくない 5 そもそも休日の活動はしたくない</p> <p>問8 もし、あなたが休日の地域スポーツ・文化活動に参加するとしたら、どのような活動がしたいですか。 1 学校の部活動の延長として休日のスポーツ・文化活動をしたい(一貫した指導を望む) 2 高等学校への接続を見据えた活動がしたい 3 平日の部活動とは異なる内容で活動したい(例1:平日 基礎トレーニング、休日 専門的な競技指導 例2:平日 陸上部、休日 地域の合唱団) 4 小学校からやってきた活動(スポーツ少年団や合唱団など)を継続したい 5 その他</p> <p>問9 もし、あなたが休日の地域スポーツ・文化活動に参加するとしたら、どのような指導者がよいですか。 1 平日に所属している部活動の顧問の先生 2 同じ部活動を指導する近隣の中学校や高等学校の顧問の先生 3 指導するスポーツ・文化活動の経験がある地域の大人や大学生 4 専門的な技能や知識・資格を持った指導者</p> <p>問10 あなたは、もし、部活動が参加する大会に地域のクラブチームが参加することになったとしたら、どのように思いますか。 1 大会が盛り上がるので賛成 2 出場機会が増えるので賛成 3 学校対抗のままがよい 4 強いチームが出てくるから反対 5 どちらでもよい</p> <p>問11 あなたは、もし、学校の部活動の時間が今より短くなったら、短くなった時間を使って何が一番したいですか。 1 家で勉強したい 2 塾や習い事がしたい 3 友達と遊びたい 4 家族と過ごしたい 5 テレビ・ゲーム・趣味がしたい 6 部活動とは違うスポーツ・文化活動がしたい 7 部活動と同じスポーツ・文化活動がしたい 8 眠りたい</p> <p>(※すでに学校の部活動以外に、地域のスポーツ・文化活動を行っている人に聞きます。)</p> <p>問12 あなたが所属・活動している学校以外のスポーツ・文化活動は、次のうち、1～5のうちどれに当てはまりますか。 1 同年代の生徒が行う競技性・専門性の高いスポーツ・文化活動(例:ジュニア・ユースサッカーチーム、ジュニア交響楽団) 2 同世代の生徒が楽しみながら行うスポーツ・文化活動(例:ダンスサークル、マルチスポーツクラブ) 3 多世代の人で楽しみながら行うスポーツ・文化活動(例:総合型スポーツクラブ、公民館の絵画教室) 4 個人で行うスポーツ・文化活動(例:フィットネス運動、ピアノ) 5 その他</p> <p>問13 あなたが部活動ではなく学校以外のスポーツ活動を選んだ理由は何ですか。 1 部活動には行いたい競技種目がない 2 部活動よりレベルが高い 3 部活動より専門的な指導が受けられる 4 他の学校の友達と一緒にできる 5 活動時間が学校の部活動より短いので、趣味など自分のやりたい他の活動と両立させられる 6 その他</p> <p>(※学校の運動部・地域のスポーツクラブ等ともに所属していない人に聞きます。)</p> <p>問14 あなたは、どのような条件であれば、運動・スポーツを行いたいですか。 1 同じ競技レベルの人だけで活動できる 2 勝ち負けにこだわらない 3 もっと気軽に緩やかに運動・スポーツができる 4 生徒同士で活動計画を決められる・友達と楽しめる 5 活動時間が程良い 6 指導がやさしく丁寧 7 高等学校への接続を見据えた活動ができる 8 小学校からやってきた活動(スポーツ少年団など)が継続してできる活動 9 どのような条件でも運動・スポーツは行いたくない</p>

	【教職員用】	【保護者用】
前文	<p>これまで中学校等の生徒のスポーツ・文化に親しむ機会の多くは、学校が部活動を設置運営する形で確保されてきましたが、少子化や学校の働き方改革が進む中で、現行の、学校単位で活動し、指導は教員が担う現状の部活動は、今の形のままで継続が困難であり、今後生徒がスポーツ・文化に親しむ機会が大きく減少してしまう恐れがあります。こうした事態を避けるため、国では、学校の部活動に代わり、地域においてスポーツ・文化の機会を将来にわたって確保・充実できるよう、子どもが地域でスポーツ・文化に親しめる環境を新たに構築していく取組が進められており、その第一歩として、まずは、令和5年度以降の中学校の休日の部活動について、段階的な「地域移行」が示されています。</p> <p>本県においても、より良い部活動の在り方等を検討するためにアンケートを行いますので、御協力をお願いします。</p> <p>※この調査での「地域移行」とは、中学生のスポーツ等の環境を、学校単位から地域単位での活動に移行すること。 (例) 平日…学校での部活動 *指導者：教師、部活動指導員など 休日…地域でのスポーツ活動等 (地域のスポーツ団体等で活動する場合、同じ学校の生徒と一緒に活動するとは限らない。) *指導者：地域の方など。(指導希望の教師は、兼職兼業を申請)</p>	<p>これまで中学校等の生徒のスポーツ・文化に親しむ機会の多くは、学校が部活動を設置運営する形で確保されてきましたが、少子化や学校の働き方改革が進む中で、現行の、学校単位で活動し、指導は教員が担うという部活動の継続は困難であり、今後生徒がスポーツ・文化に親しむ機会が大きく減少してしまう恐れがあります。こうした事態を避けるため、国では、学校の部活動に代わり、地域においてスポーツ・文化の機会を将来にわたって確保・充実できるよう、子どもが地域でスポーツ・文化に親しめる環境を新たに構築していく部活動改革が進められており、その第一歩として、まずは、令和5年度以降の休日の部活動の段階的な「地域移行」が示されています。</p> <p>本調査の内容については、目的以外で使用することはありません。また、個人が特定されることもありません。県立中学校、中等教育学校前期日程に兄弟姉妹が2人以上在籍している場合は、1人につき1回、回答してください。本調査は部活動の地域移行の検討の資料として、現状を把握するために実施されるものであり、この結果をもって直ちに令和5年度から学校の部活動がなくなるものではありません。本調査の趣旨を御理解いただき、御協力いただきますようお願いいたします。</p> <p>※この調査での「地域移行」とは、中学生のスポーツ等の環境を、学校単位から地域単位での活動に移行すること。 (例) 平日…学校での部活動 *指導者：教師、部活動指導員など 休日…地域でのスポーツ活動等 (地域のスポーツ団体等で活動する場合、同じ学校の生徒と一緒に活動するとは限らない。) *指導者：地域の方など。(指導希望の教師が行う場合がある)</p>
設問	<p>問1 あなたの学校名を次から選んでください。 1 A 中学校 2 B 中学校 3 C 中学校 4 D 中学校</p> <p>問2 あなたが担当（顧問）している部活動は何ですか。 1 運動部 2 文化部 3 運動部と文化部の両方 4 担当していない</p> <p>問3 最も指導頻度が高い部活動における、あなたの指導状況等について (1) 立場 ※部活動を担当していない場合は、3を選択してください。 1 第1顧問 2 第2顧問 3 その他</p> <p>(2) 部活動の指導について 1 やりがいがある 2 どちらかというonyりがいがある 3 どちらとも言えない 4 どちらかというony負担である 5 負担である</p> <p>(3) あなたが、部活動の顧問をする場合、どのようなことを負担に感じますか。(複数回答可) 1 負担はない 2 教材研究の時間がなくなる 3 勤務時間を超えて部活動があるので帰宅時間が遅くなる。 4 休日の部活動の指導や大会の引率 5 経験したことのないスポーツ・文化活動を指導するための指導力不足 6 部費などの会計処理 7 他の顧問や生徒、保護者との人間関係 8 その他</p> <p>(4) 今、担当（顧問）している競技の競技経験・指導経験について ※部活動を担当していない場合は、3を選択してください。 1 学生の頃等、過去に競技経験等がある部活動を指導している。 2 もともと自分に競技経験はないが指導している。 3 その他</p> <p>問4 「部活動の地域移行」について (1) 「部活動の地域移行」についての個人的な意見 1 “子どものスポーツ・文化環境”は、今後も、これまでの部活動のかたちで、出来るだけ学校の部活動で確保・提供していくべきである 2 解決すべき課題もあるが、まずは、休日の部活動から「地域移行」に取り組んでいくべきである。 3 「休日から」ではなく、平日も同時に地域へ移行していくべきである 4 その他</p> <p>(2) 「地域移行」のための課題や困難な理由は何かと考えますか。 1 生徒・保護者の理解 2 教員の理解 3 受け皿となる団体等の整備 4 人材(指導者・活動を運営する人など)の確保 5 活動場所の確保 6 大会の在り方 7 会費や保険 8 学習指導要領での部活動の位置付け 9 トラブルが起こった場合の責任の所在 10 その他</p> <p>(3) 現在の子どものスポーツ・文化環境が、学校から「地域移行」する可能性について 1 令和5年度以降、休日も平日も、比較的スムーズに地域移行できる 2 令和5年度以降、休日の活動は、比較的スムーズに地域移行できる 3 将来的に、休日も平日も、全ての活動を地域移行できる可能性がある 4 将来的に、休日も平日も、一部の活動を地域移行できる可能性がある 5 将来的に、休日の活動は、全ての活動を地域移行できる可能性がある 6 将来的に、休日の活動は、一部の活動を地域移行できる可能性がある 7 将来的に、休日も平日も地域移行できるとは考えにくい</p> <p>(4) 休日の部活動が地域移行された場合、あなたはどのようにしたいですか。 1 地域人材等に任せたい 2 兼職兼業の許可を得て、自身が指導したい 3 どちらとも言えない</p> <p>(5) 上記(4)で「2 自身が指導」を選択された方は何処で指導したいですか。 1 学校が所在する地域での指導 2 自身が居住する地域での指導 3 その他の地域等での指導</p>	<p>問1 お子さんが通っている学校を次から選んでください。 1 A 中学校 2 B 中学校 3 C 中学校 4 D 中学校</p> <p>問2 お子さんは何年生ですか。次から一つ選んでください。 1 1年生 2 2年生 3 3年生 4 無回答</p> <p>問3 お子さんは、学校での部活動（運動部・文化部）に所属していますか。なお、運動部以外の部は、文化部とします。 1 運動部に所属 2 文化部に所属 3 運動部と文化部の両方に所属 4 所属していない</p> <p>問4 あなたは、学校の部活動が各教科、特別の教科（道徳）、総合的な学習の時間及び特別活動により編成される教育過程ではなく、生徒の自主的、自発的な参加により行われるものであることを知っていますか。 1 知っている 2 知らなかった</p> <p>問5 あなたは、今後の部活動の在り方について、どのように考えますか。 1 多少お金がかかっても学校の部活動に実技指導者を配置して、学校で継続していく 2 保護者が指導等に関わるなどもっと学校の部活動に協力する 3 できる範囲で今までどおり学校・教員が担う 4 将来的に学校から地域の活動に移行させる 5 学校の部活動はなくても良い 6 特段の意見はない・わからない</p> <p>問6 あなたは、休日の部活動が学校の活動ではなく、地域の活動となった場合、休日の地域スポーツ・文化活動にお子さんを参加させたいですか。 1 家の近くの学校施設、スポーツ・文化施設での活動なら参加させたい 2 子どもが通っている学校施設での活動なら参加させたい 3 家の近く、通学している学校のいずれかでなくても求める条件に合うところがあれば参加させたい 4 学校の部活動でないのなら参加させたくない 5 そもそも休日の活動はなくてよい 6 その他</p> <p>問7 あなたは、休日の部活動が地域のスポーツ・文化活動に移行することについてどのように考えますか。 1 できるだけ早く地域での活動に移行していくべきである 2 学校での部活動は、可能な活動から地域移行していく方がよい 3 学校での部活動ができなければ、部活動が縮小されていくのはやむを得ない 4 これまでどおり学校の部活動として維持・継続していくべきである 5 わからない 6 その他</p> <p>問8 もし、お子さんを休日の地域スポーツ・文化活動に参加させるとしたら、どのような指導者がよいですか。 1 平日に所属している部活動の顧問（教員） 2 同じ部活動を指導する近隣の中学校や高等学校の顧問の教員 3 指導するスポーツ・文化活動の経験がある地域の大人や大学生 4 専門的な技能や知識・資格等を持った指導者 5 その他</p> <p>(※部活動に所属していないお子さんの保護者の方への質問は以上です。ご協力ありがとうございました。)</p> <p>問9 あなたは、お子さんの部活動にどのようなことを期待していますか。 1 大会・コンクール等で良い成績を収める 2 チームワーク・協調性・共感を味わう 3 体力・技術の向上 4 運動習慣の形成 5 友達と楽しく活動する 6 自信をつける 7 社会性（挨拶・礼儀等）を身につける 8 放課後の居場所 9 特にならない 10 その他</p> <p>問10 あなたは、現在のお子さんの部活動の指導をどのように感じていますか 1 適切な指導が行われている 2 もっと専門的な技術指導が受けたい 3 指導時間・日数が長い 4 指導時間・日数が短い 5 家族で過ごす時間が減った 6 特に感じない 7 その他</p>

(4) 関係団体等への意見集約（まとめ）について

「部活動の地域移行」に係る意見等（主なもの）

項目	ご意見等
<p>1 地域移行の必要性等への理解</p>	<p>○働き方改革を進めるうえで必要不可欠なものである。</p> <p>○学生が教員を志望しない原因(定額働かせ放題)の現状を改善するためにも地域移行は実現すべき。</p> <p>○多くの教職員がありがたいと思っている。</p> <p>○子どものスポーツや文化活動の環境を考えるならば地域等で受け入れるしかない。</p> <p>中学生を地域で面倒を見ることはスポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブなどの活性化に繋がる。</p> <p>●地域移行しても、結局は学校に頼ることになるのではないかと不安を訴える教員が多数いる。</p> <p>▲方向性としてはみな理解した。→理解はできたが、具体的にどうなるかは全く理解できない。</p> <p>▲しばらくは現状のままが続くと思われる。</p>
<p>2 課題 ※「地域移行」に向けた課題についての意見及びその解決方法についての意見</p>	<p>○地域の受け皿をどう整理するのか。</p> <p>→学校が受け皿を用意することは無理があるので、どこの機関がリードするのかを明確にする必要がある。</p> <p>○地域移行するために必要な地域人材の確保が難しい。</p> <p>→小学生を指導するスポーツ少年団などには地域人材が活用されているので、中学生の部活動の地域移行へ向けての人材育成を長いスパンで行う。</p> <p>○地域移行できたとして、施設は学校の体育館等を使用することが多いと思うが、管理はだれがするのか。</p> <p>→地域の指導者と学校とで定期的に協議していく。</p> <p>○参加資格への対応。</p> <p>→日本中体連が示す参加資格を踏まえ、県内大会についての参加資格の検討。</p> <p>○教員が兼業兼務可能としたときに、居住学区に限定できるのか否か。</p> <p>→教員は居住学区に限って兼業可能とする。（勤務校の指導を行うと、次の教員の負担となる）</p> <p>○事故や諸問題等に対する責任の所在はどこが担うのか。</p> <p>→体制づくりを含め、全会一致の方向性を出し、理解を求める。</p> <p>○地域移行すると、スポーツを楽しみたい、競技性を高めたいなど、目的の異なる集まりができてしまう。</p> <p>→既存の地域クラブがありながらも部活動を選択しているニーズ等を確認するアンケートなど。</p> <p>○会費の在り方</p> <p>→保護者が出すのか、行政が負担なのか？その他からの助成があるのか。</p> <p>○貧困家庭等では、活動するのに経費が発生するのであれば、活動を諦める子どもが出てくる恐れがある。</p> <p>→国や自治体などが支援する。各市町村が企業等に寄付を求めたりして対応する。</p>
<p>3 移行に向けて出来ること</p>	<p>○各校において、地域移行を踏まえて部活動の再編を協議する。</p> <p>○地域や保護者への趣旨の説明は学校でも担える。アンケートを実施し保護者のニーズを聴くこともできる。</p> <p>○校内での話し合いと共に、校外との協議システム作りが必要。</p> <p>○学校と行政が連携して方向性を協議する。</p> <p>○子どもをめぐるスポーツや文化環境づくりは、地域総がかりを進めることの共通認識を図る。</p> <p>○移行は必要なことなので、学校評議員会（コミュニティスクール）や地域連携協働本部との検討をする。</p>

その他、「地域移行」に関する御意見等を自由に記載願います。

- グズグズしている場合ではないというのが、中山間地域等の感覚ではないでしょうか。
- ▲人口の多い地域と少ない地域では、受け皿が違うので格差がかなり出る。行政のバックアップがないとできない。
- 学校の部活動は運動部だけではない。文化部についての議論が置き去りにされている感がある。
- 個人情報の扱いが難しくなると思う。

(5) 地域移行説明会について

第1回「地域運動部活動推進事業」に係る地域移行説明会 開催要項

1 目的

令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、拠点校における優れた取組や成果を県内に展開するとともに、国や県の動向も情報提供し、地域移行の推進を促すことを目的とする。

2 日時及び会場

・令和4年8月1日(月) 14:00～16:00
メルパルク岡山【定員：80名】

・令和4年8月4日(木) 14:00～16:00
県立図書館デジタル情報シアター【定員：80名】

※両日の説明は同じ内容となっておりますので、御都合の良い日程へ御参加ください。

3 開催方法

参集形式 ※新型コロナウイルス感染症の状況等により開催方法の変更の可能性あり。

4 参加対象

- (1) 市町村教育委員会担当者
- (2) 市町村スポーツ主管課担当者
- (3) 県内中・高等学校、中等教育学校、特別支援学校の管理職及び教員
- (4) 令和4年度運動部活動指導員
- (5) スポーツ推進委員等

※(1)、(2)の方は、8/1と8/4のいずれかの回に可能な限り御参加ください。

※運動部活動指導員への御案内は、配置している各学校からお願いします。

※定員になり次第、申し込みを締め切ります。(先着順)

5 日程・内容

- (1) 県教委からの説明 [県教育庁保健体育課 指導主事(主任) 宮崎 准二]
・国の動向 ・県の動向 ・今後のスケジュール 等

- (2) モデル校実践報告及び進捗状況報告

<実践モデル校>

- ・赤磐市立磐梨中学校
- ・早島町立早島中学校
- ・高梁市立中学校(高梁東、高梁北、有漢の3校)

<コーディネーター>

岡山大学大学院教育学研究科准教授 高岡 敦史

- (3) 情報交換・質疑応答

14:00 14:05 14:25 14:55 15:50 15:55

開会行事 (5分)	県教委説明 (20分)	モデル校実践報告及び進捗状況 (30分)	情報交換・質疑応答 (55分)	閉会行事 (5分)
--------------	----------------	-------------------------	--------------------	--------------

5 今年度の動きと今後のスケジュール

日にち	会 議				場 所 等	内 容 等
	推進 委員会	運動 部会	文化 部会	諸会議等		
5/13 (金)		第4回			県庁分庁舎	・令和4年度事業計画 ・国の提言（案）等
5/18 (水)				教育長 連絡会議	岡山 教育事務所	・部活動の地域移行について説明と情報交換 (参加者：各教育長 和気町、早島町、里庄町、矢掛町、吉備中央町)
5/20 (金)			第2回		(オンライン)	・国の検討会議（文化庁）等
5/26 (木)				定例 教育長会議	津山 教育事務所	・部活動の地域移行について説明と情報交換 (参加者：各教育長 真庭市、勝央町、津山市(代理)、美作市、新庄村、 鏡野町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町)
6/1 (水)	第3回				県立図書館	・令和4年度事業計画 ・国の提言（案）等
6/6 (月)	<p style="text-align: center;">運動部活動の地域移行に関する検討会議 提言</p> <p style="text-align: center;">～少子化の中、将来にわたり我が国の子供たちがスポーツに継続して親しむことができる機会の確保に向けて～</p>					
7/5 (火)				中学校長会 第2回評議員会	ピュアリティ まきび	・部活動の地域の移行に向けて説明 (参加者：中学校長会委員及び支部代表)
7/19 (火)				教育長 連絡会議	ピュアリティ まきび	・部活動の地域移行について説明と情報交換 (参加者：各教育長 倉敷市、玉野市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、 新見市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、浅口市、 和気町、早島町、里庄町、矢掛町、吉備中央町)
7/22 (金)		第5回			県立図書館	・モデル校の進捗状況 ・地域移行支援コーディネーター ・運動部活動の地域移行に関する検討状況 等
7/26 (火)			第3回		(オンライン)	・国の提言について
8/1 (月)				地域移行説明会 (第1回)	メルパルク 岡山	・国及び県の動向の共有 ・R5段階的な地域移行に向けた準備 等
8/4 (木)				地域移行説明会 (第1回)	県立図書館	・国及び県の動向の共有 ・R5段階的な地域移行に向けた準備 等
8/31 (水)	第4回				県立図書館	・進捗状況の共有 ・R5段階的な地域移行に向けた準備 等
9/26 (月)				地域移行説明会 (予定)	県総合教育 センター	・R5国の概算要求 等

